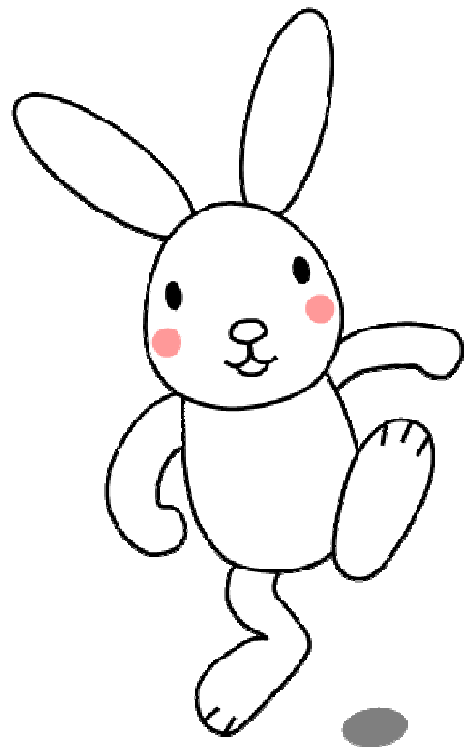


アジガ21
おた:

平成26年度事業活動報告書



アジェンダ 21 suite 平成26年度事業活動報告書

(目次)

エネルギー部会	1
資源部会	3
自然部会	5
歩きたくなるまちづくり フラッグシッププロジェクト	7

エネルギー部会

1 事業目的

省エネ型ライフスタイルの普及・啓発や自然エネルギーの利用を促進するための仕組みづくりを進める。

2 事業の内容

自然エネルギーの調査と実用可能性について

地熱活用の家を体験した。効果があり冷暖費の節約できる。建設費 250 万円プラスになる。

実施日：平成 26 年 12 月 11 日（木）

実施場所：株式会社大栄建設
（京都府長岡京市 2-7-6）



エコキャンドル作り

家庭で残った天ぷら油の活用と、キャンドルナイトなどへの参加へのきっかけとなることを目的に資源部会と協働で実施した。

実施日：平成 26 年 8 月 24 日（日）

実施場所：吹田市立博物館

対象：小学生（親同伴）

「みどりのカーテン」の普及・啓発活動

ヒートアイランド現象の緩和に資するものとして、自然部会との協働で、みどりのカーテンの普及促進に取り組んだ。

育成講座の開催

実施日：平成 27 年 5 月 30 日（土）

実施場所：勤労者会館

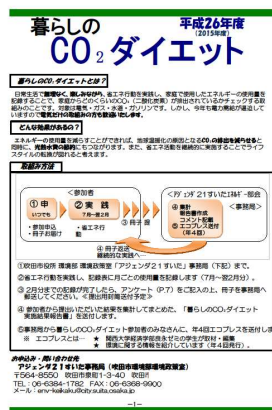
参加者：31 家庭



暮らしのCO₂ダイエット

吹田独自の環境家計簿を作成・配布し、市民の地球環境に配慮したライフスタイルの普及を図った。

参加人数：162名



「エコプレス」の発行

環境に関する情報提供のツールとして、年4回(7月、10月、1月、4月)「エコプレス」を発行した。

取材・編集は、関西大学良永ゼミの学生の皆さんが行っている。

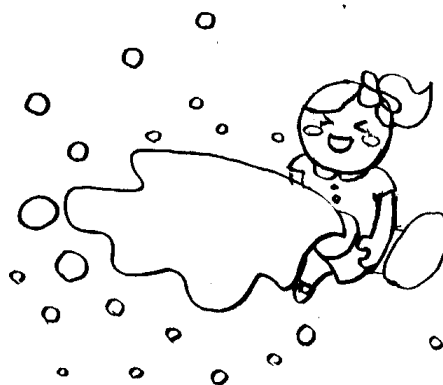


3 実施評価及び課題

緑のカーテン講座は毎年継続して実施しており、子どもたちの環境意識の向上につなげている。さらに、エコキャンドル作りを新たに加えて環境啓発の推進を行った。単発実施でなく実施可能なところで数回行って意識向上を図っていく。自然エネルギーの調査と実用可能性については、見学だけでなく実用可能性を追求していく必要がある。それには、多くの施設、場所を見学していく必要がある。

4 参加メンバー

田中脩、江渕征昭、西川整子、奥田倫子、福井一彦、吉田誠、馬場慶次郎、笹倉俊男、森田宏、岩元喜代子、中野政男



資源部会

1 事業目的

持続可能な循環型社会をめざすため、使い捨てのライフスタイルを改め、ものを大事にする意識の啓発と、ごみを生まない資源循環の仕組みを形作る。

2 事業の内容

ごみの減量・資源化のための啓発

(1) 「すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会」のメンバーとしての活動
イベントや店頭でのキャンペーンに参加し、啓発のチラシやポケットティッシュを配布した。

- ① 店頭でのキャンペーン
平成26年10月7日～11月13日
延べ20店舗

- ② 北摂地域共通キャンペーン
平成26年11月15日 千里中央3店舗
ゆるキャラが勢ぞろいしてマイバッグキャンペーンを行った。



(2) 風呂敷の包み方の講習会をイベント等で実施した。

- ① 第13回吹田母子会まつり
平成26年12月13日 メイシアター
参加者80名

- ② 「第18回すいた環境教育フェア」
平成27年1月31日 メイシアター
参加者98名

- ③ 吹田産業フェア
平成27年5月9日、10日
メイシアター 参加者254名



(3) あなたが見つかるエコなお店 in すいた

3Rの推進や省エネや人にやさしい取組を行っている吹田市内の事業者を支援するため、ニュースレターやホームページで紹介した。

- ① 千里リサイクルプラザ 「あげますコーナー」「もらいますコーナー」
衣服、食器
- ② エクセルシオールカフェ、タリーズカフェ
マイカップ・マイボトル奨励カフェ

市内に給茶ができるスポットを広げる取組み

平成 26 年 1 1 月 1 5 日 第 2 回すいたエコウォークにおいて、マイカップ・マイボトル奨励のカフェの協力により「給茶体験」を行い、マイカップ・マイボトル持参推進を呼びかけた。

エコキャンドル作り（エネルギー部会と共催）

平成 26 年 8 月 2 4 日 博物館講座 参加者 3 0 名

家庭で残った廃油を再利用してエコキャンドル作りを行い、廃油の適切な処理について啓発を行った。



3 実施評価及び課題

「レジ袋削減」については、すいたレジ袋削減・マイバッグ推進協議会の一員として「マイバッグキャンペーン」を行ってきた。

また北摂 7 市の共同のキャンペーンは 2 回目を行うことができた。

「エコなお店 in すいた」のニュースレター掲載を続けてゆき、さらなる店舗発掘により吹田市独自のエコショップ制度につなげたい。

今年度は廃油からできるエコキャンドル講座をエネルギー部会と開催した。廃油の有効利用を呼びかけると共に、キャンドルイベントへの発展を考えて行きたい。マイカップ・マイボトル持参推進をさらに広め、また、市内で「給茶」できる協力店舗を増やす活動も続けて行きたい。

4 参加メンバー

伊藤智子、岩元喜代子、大澤浩子、戸坂篤子、福田規子、水川晶子、三輪信哉

自然部会

1 事業目的

吹田市域において生物多様性に配慮し自然を守り育てる活動を展開し、人と自然とが共生出来る環境づくりを推進する。

また、啓発活動や講習会を通じて、広く市民の環境意識を高めることを目指す。

2 事業の内容

まもりたい野草の観察会

① 平成26年9月30日 参加者32名

北千里駅から循環器病センターあたりまでの青山台の草地をめぐる大阪府では絶滅したとされていたアイナエやチガヤ草原の、秋の野草の観察をした。講師をすいた市民環境会議の平さんにお願したので、ヤマサキソウなど希少種（まもりたい野草）について、有意義で楽しい勉強が出来た。



② 平成26年12月22日 参加者20名

豊津駅～糸田川～神崎川～アメニティー江坂のコースで、野草の冬芽と吹田の大木、水辺の鳥など数多くの観察が出来た。



③ 平成27年3月30日 参加者31名

南千里駅～高野台地区の公園や草地～紫金山公園のコースで野草のロゼットや新芽、春の花等の観察を楽しんだ。

博物館エコアップ作戦

平成26年7月19日～8月24日まで開催の吹田市立博物館の夏季展示に協力して生物多様性の啓発展示や、恒例になっているみどりの大カーテンの展示、ゴーヤのクイズ等で自然部会の取り組みを紹介するとともに、資源部会、エネルギー部会合同での廃油を使ったキャンドル作りのイベント企画、なにわ伝統野菜の実物栽培、紫金山の野草の実物展示等、様々な協力をした。

みどりのカーテン講座開催

平成27年5月30日、31家庭参加のもと、勤労者会館にて、みどりのカーテン講座をエネルギー部会と共催で開催した。

今回は環境家計簿の取り組み報告、みどりのカーテンとポタジュガーデンについての講義、ゴーヤを使ったみどりのカーテン作りの実演、終了後にゴーヤの苗2株を持ち帰って頂いた。



3 実施評価及び内容

みどりのカーテンについては市民の方々にも浸透し、活動の効果もあるが、カーテン講座は参加者が減少している。講座の内容、募集の方法等検討が必要となっている。

野草観察は市民の関心も大きく、募集についても直ぐに締め切りとなる。観察だけではなく調査や保全につながる啓発も必要ではないか。生物多様性については植物だけではなく吹田市に残される保全すべき生きものについても啓発が必要と思われる。今後の活動の活性化については、各部会間の連携と協力を以って広げたいと思う。

4 参加メンバー

伊藤忠征、喜田久美子、寺西信明、馬場多佳子、森田宏、林暁子

歩きたくなるまちづくり フラッグシッププロジェクト

～すいたエコウォーク～

平成26年11月15日（土）、アジェンダ21すいたの「歩きたくなるまちづくり すいたエコウォーク」を開催した。当日はウォーキングにぴったりの最高の天気の中、総勢64名が参加した。

今年で2回目になるすいたエコウォーク、今回は吹田市南部に視点をおき、江坂コース、豊津コース、吹田コースの3コースを設定した。どのコースも実行委員会スタッフにより練りに練られ、下見と検討を何度も重ねただけあって、アジェンダ21すいたならではのエコな見どころたっぷりのコースになった。

江坂コース

約3.5km。江の木公園（防災公園）をスタートし、廃油の回収場所の江坂花とみどりの情報センターを経て、糸田川を横断し、ゴールを目指した。



スタート地点である江の木公園ではかまどベンチやマンホールトイレ、防災用貯水タンクなどの防災設備を見ていただいた。エクセルシオールカフェでのマイボトル体験では、スタッフが希望者のマイボトルを預かって注文した。主なルートは、吹田で一番の繁華街、エスコタウンを通過し、ダスキン本社と豊津公園の岡本太郎作品を見学した後、糸田川の自然と生物を感じ、楠明神や垂水神社、鎌倉時代の条理やかやぶき屋根の屋敷などの旧跡に触れたほか、市内に点在する資源回収拠点や市の設備等を歩いた。

江坂コースは距離があり、団体では立ち止まって説明する時間がないと判断し、事前の準備に知恵を絞った。集合場所の江の木公園ではパネルを掲示し、マンホールトイレやかまどベンチも事前に組み立て出発前に見てもらうことができた。また、出発前にコースや案内場所のレジメを配布することで歩きながらの説明が出来た。参加者からも良い勉強になったとの声を頂いた。ワークショップの発表でも参加者から手を挙げて素晴らしい発表をして頂いた。

豊津コース

約3km。阪急豊津駅前をスタートし、今春、開校した大和大学キャンパスを抜けて、ゴールを目指した。

9時30分、阪急豊津駅をスタートした21名は、まず、



ライフ豊津店でペットボトルがリサイクル資源として回収されているのを見て、汚れたボトルは投入しないなどマナーを守ることを確認した。片山公園の紅葉を愛で落ち葉を踏みしめながら、葉の枯れたスイタクワイが収穫を待つ池を通り、今春開校したばかりの大和大学のキャンパス内を「この様な先端設備が整った学舎で学べるのなら50年若返ってみたい・・・」などと思いながら通り抜け、太陽光発電装置のある子ども発達支援センターに向かった。土曜日で休館なのか？ひっそりしていた。

さらに歩を進めて西の庄防災公園に到着し休憩。ここは、府内でも早くから整備された防災セーフティロードで、災害時に役立つさまざまな設備があった。例えば、マンホールの中にトイレ用のテントや便器、トイレトーパー等が備蓄されており、災害時にはトイレになるマンホールトイレ。ベンチの下の箱に救助活動に必要な道具類が収納されているレスキューベンチ。雨水貯留層の上に作られた緑地帯。帰宅困難者を安全に誘導する蓄電タイプのLED道路照明灯などで、市内の全公園にこのような設備があったらどんなにか心強いだらうと感じた。

ゴール間近、非難ビルとなっている吹田第一小学校脇の海拔5.8メートルの表示を見上げながら、我が家はいったい何メートルなのか？と思った。内本町コミュニティセンターに一番乗りした豊津コース。5,775歩のとてもエコなウォーキングだった。

吹田コース

約3km。JR吹田駅前をスタートし、目俵体育館からやすらぎ苑、味舌水路遊歩道を歩いてゴールを目指した。

学生も参加して賑やかに歩き始めてすぐの旭通や錦通の商店街では、人通りの多いアーケードを覆うように設置された太陽光発電パネルとそれらが産み出す電力によって稼働するミスト散布装置に早速目を奪われてしまった。

その後、勤労者会館のペットボトル回収拠点を見た後は、静かな住宅地をのんびりと歩いて風力発電と太陽光発電を備えたやすらぎ苑を通過し、旧味舌水路に沿って親水緑道を安威川防災公園に向かった。

防災公園では、初めて見る参加者が多かった災害時用トイレを見学して、海拔3.9メートルの吹田第三小学校で折り返し、水面の美しい神崎川を横目に吹田の渡しで一息入れて、浜屋敷に到着した。

周辺の歴史的景観を眺めながら昔日の吹田に思いを馳せ、花木が美しい高浜神社前のアドプトロードから内本町コミュニティセンターに到着。

このコースは、繁華街から住宅地を抜けて歴史的景観の街並みを巡るコースで、吹田のまちの多様な姿に触れることができた。勿論、環境的にも多様な見るべきものがあるコースだった。



ウォーキング後のワークショップ

約1時間半のウォーキングの後、内本町コミュニティセンター多目的ホールでコース別ワークショップを行った。

各コースの見所や良かった点、気になった点をまとめ、発表することで、参加者全員で全コースの振り返り内容を共有した。

参加者からは「防災公園の機能に驚いた。」「マイボトルでお得にコーヒーを飲めた。」「これまで公共施設の環境配慮設備には気づかなかった。」「エコに関心を持った。」など、活発な意見が出された。

秋の一日を普段とは違うエコな目線で歩くことで、参加者それぞれ新たな発見があったのではないだろうか。また、ウォーキング中に行ったお楽しみ企画「歩数あてゲーム」の結果発表では、景品である協賛品の獲得を目指して、一喜一憂する姿も見られた。



ゴール会場



各コース振り返り



各コース振り返り



振り返り内容の発表

今後も皆さんとともに

「まちを愛すること」が、「まちを育てる」ことになる、という三輪代表の言葉どおり、今後も皆さんとともに取組を進めていければと感じた。



アジェンダ21すいた

平成26年度事業活動報告書

発行 アジェンダ21すいた事務局

〒564-8550 吹田市泉町1-3-40

TEL06-6384-1782

FAX06-6368-9900